

令和7年度子どもの居場所に関する実態調査の結果について

(子ども家庭課)

1 概要

県内子どもの居場所の活動状況や抱える課題等を把握するため、実態調査を行った。

2 調査の概要

- (1) 調査主体 県こども家庭課、県社会福祉協議会事務局
(2) 調査依頼先 各市町、各市町社会福祉協議会事務局
(3) 調査対象 民間団体又は個人が実施しているこども食堂、学習支援、遊び場の提供等
(4) 調査期間 令和7年9月
(5) 調査時点 令和7年9月1日時点
(6) 調査内容 実施主体、活動内容、課題、物価高騰の影響等

3 調査結果

(1) 回答数

(単位：か所、〔前年比〕)

調査対象箇所	活動実態あり	活動実態なし	不明	重複等対象外
399〔+80〕	351〔+50〕	17〔+6〕	22〔+15〕	9

(2) 運営主体

(単位：か所(%)、〔前年比〕)

法人	法人合計	任意団体等	個人	計
社会福祉法人				
21(6.0) 〔+3〕	72(20.5) 〔+5〕	37(10.5) 〔+3〕	130	171(48.7) 〔+39〕
				50(14.2) 〔±0〕
				351

(3) 活動状況

(単位：か所(%)、〔前年比〕)

活動中	休止中	計
343(97.7)〔+57〕	8(1.4)〔-7〕	351

(4) 活動内容 (複数回答、休止中を含む)

(単位：か所(%)、〔前年比〕)

食事の提供	学習支援	遊び場・居場所	その他*
261(74.4)〔+38〕	121(34.5)〔+11〕	237(67.5)〔+22〕	143(40.7)〔+25〕

*食事・弁当配布、食育活動、相談活動、世代間交流等

(5) 開催頻度 (休止中を除く)

(単位：か所、%)

ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月1回程度	2ヶ月に1回以上	2ヶ月に1回未満(不定期)	不明	計
22(6.4)	16(4.7)	58(16.9)	198(57.7)	19(5.5)	28(8.2)	2(0.6)	343

(6) 運営面での課題（複数回答、休止中を含む）

(単位：か所、%)

資金	物資	スタッフ	会場	参加者	その他
159 (45.3)	101 (28.8)	126 (35.9)	46 (13.1)	106 (21.2)	47 (13.4%)

【参考：令和6年度】

(単位：か所、%)

資金	物資	スタッフ	会場	参加者	その他
158 (55.2)	100 (34.9)	135 (47.2)	48 (16.7)	102 (35.6)	50 (16.6%)

*資金：活動に必要な資金の物資の確保

*物資：活動に必要な食材等の物資の確保

*スタッフ：活動を支えるボランティア等のスタッフの確保

*会場：活動を実施するための場所の確保

*参加者：参加者数の確保、本来支援したい子どもや保護者の参加

【その他課題（抜粋）】

- ・支援が必要と思える方には、それとなく物資等支援をしている。男性スタッフが不足している。
- ・年々暑さが増す中、外での活動の減少
- ・要支援児童との関わり方
- ・PTA以外の地域住民の来場及びボランティアが少ない
- ・学校の不登校への無理解
- ・参加する保護者とのコミュニティ作り
- ・情報に強い人だけが来れる仕組みになりつつある
- ・行政、民生委員との連携
- ・参加希望者が多く、全員に参加してもらえていない
- ・来所する子どもの交通費

(7) 物価高騰の影響（休止中を含む）

(単位：か所、%)

影響有	活動内容			影響無	未回答 (新規含)	計
	変更有	変更無	未回答			
221 (63.0)	32 (9.1)	162 (46.2)	27 (7.7)	109 (31.1)	21 (6.0)	351

※影響有の内容は、食材費、施設利用料、光熱水費、生活困窮世帯の増加 等。

※活動の変更内容は、日数の変更、利用料金の変更、メニューの変更、利用者数の削減 等。

【参考：令和6年度】

(単位：か所、%)

影響有	活動内容			影響無	未回答 (新規含)	計
	変更有	変更無	未回答			
185 (61.4)	25 (8.3)	148 (49.1)	12 (3.9)	76 (25.2)	40 (13.2)	301